



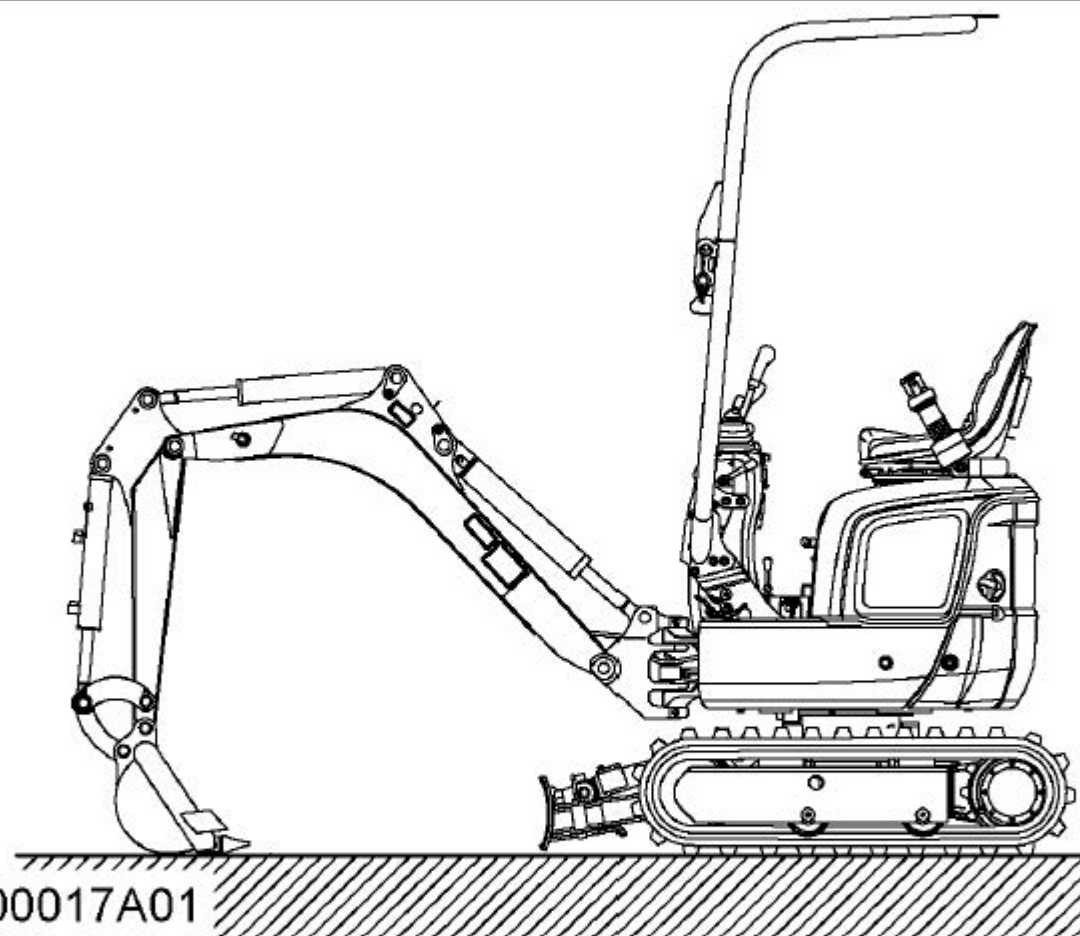
警告

- 作動油タンクの給油口を外す前に必ず作業機の圧抜きを行ってください。
また油温が完全に下がってから給油口を外してください。油が噴出し、ヤケドをする可能性があります。

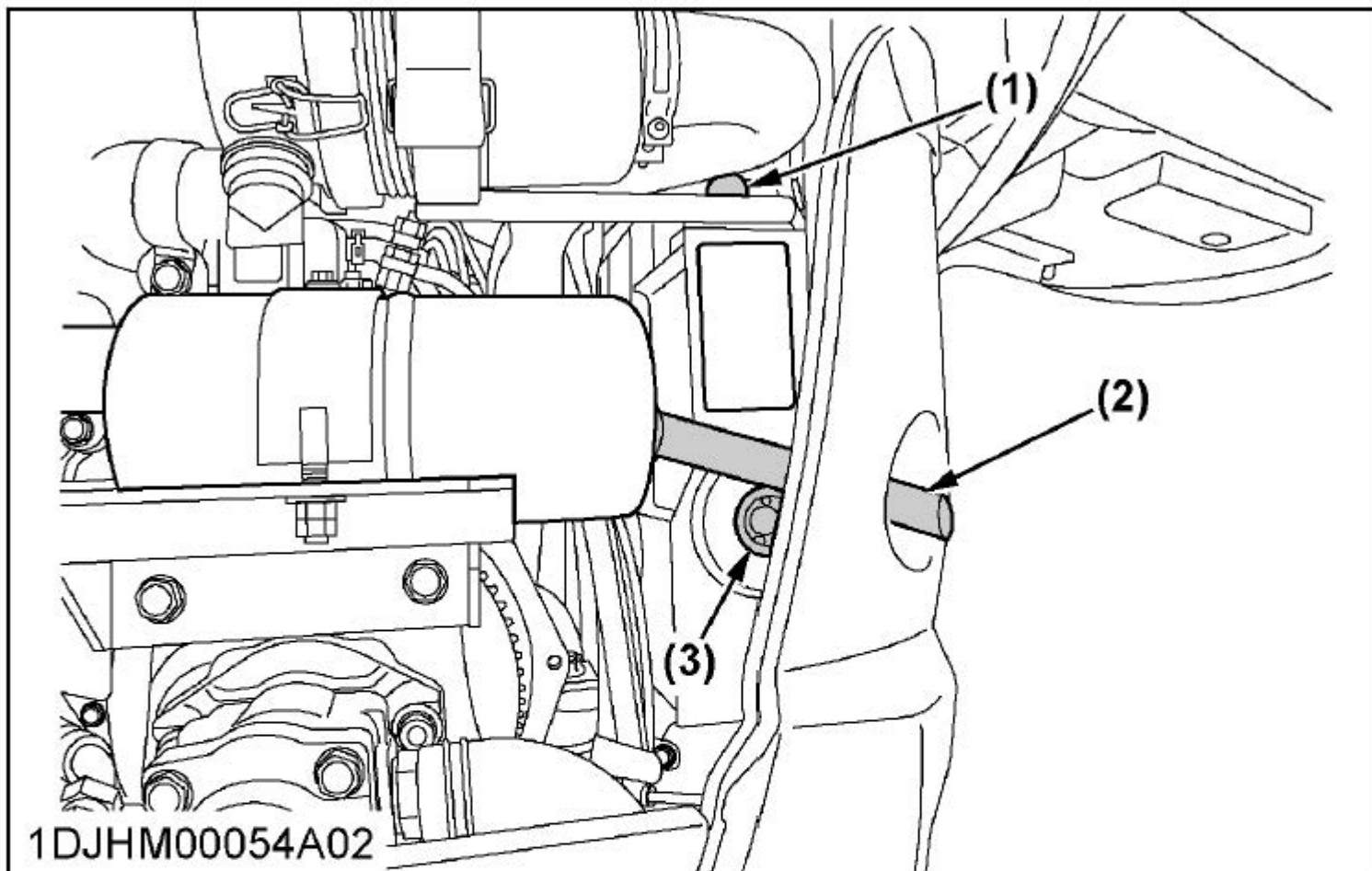
重要：

- 補給する場合は、付近の砂やゴミをよく拭き取り、必ず同一銘柄の作動油を使用してください。
工場出荷時の作動油銘柄は、推奨オイル、グリース一覧表を参照してください。
絶対に他銘柄と混合しないでください。
(詳細は推奨オイルとグリース一覧表 (98 ページ) を参照)

1. 車体を水平な所に止め、各シリンダのロッドをほぼ中央まで伸ばし、バケットを地面に接地します。
可変脚仕様は足幅を最伸（860 mm [U008-5S2]、990 mm [U10-5S2]）にします。



2. 作動油が、常温（10℃～30℃）において油面計の中央になっているか点検します。
油面計の中央にあれば正常です。
3. 不足しているときは、給油口より補給します。
4. 作動油に水などの異物が混入したときは、全量交換



- (1) 給油口
- (2) マフラパイプ
- (3) 油面計

作動油オイル交換容量

全油量：18 L
(油面計中央：13.5 L)